

教職実践研究科 教職実践高度化専攻
【授与する学位】教職修士（専門職）

<p style="text-align: center;">大学（大学院）の目的</p> <p>金沢大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。</p> <p>専門職大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とする。</p> <p>専門職学位課程は、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とする。</p>	<p style="text-align: center;">学類（研究科）の教育研究上の目的</p> <p>教職実践研究科は、学校教育に関する高度の学識及び実践力・応用力を備え、特に子どもたちの主体的・能動的な学習をデザインし、支援する力において優れた教員及び確かな教育理論と優れた実践力・応用力を備え、地域や家庭と連携しつつ学校の管理運営において指導的役割を果たし得る中核的教員を育成することを目的とする。</p>
--	--

ディプロマ・ポリシー（DP）	カリキュラム・ポリシー（CP）	アドミッション・ポリシー（AP）
<p>【修了認定・学位授与に関する基本的考え方（前文）】</p> <p>教職実践研究科教職実践高度化専攻では、学校教育に関する理論と実践を往還できる高度な専門知識と実践的指導力を修得し、現代の教育課題に対して協働で取り組む資質・能力を育成することが期待されている。こうした高度専門職業人を育成するために、本専攻では、所定の単位を修得し、かつ以下のような力を身につけた人に教職修士（専門職）の学位を授与する。</p>	<p>【教育課程編成に関する基本的考え方】</p> <p>教職実践研究科教職実践高度化専攻では、様々な課題に挑む中で広く深い学修を実現し物事の本質を見極めることを目指す「探究」と、学校や地域社会で多様な人々が互いに認め合い共に生きていくための教育環境の更新を目指す「共生」を教育課程の軸に置き、理論と実践の往還を実現する教育課程として、「基盤科目」「高度化科目」「実習科目」「総合科目」の4種類の科目群を設ける。（カリキュラム・ツリー及びカリキュラムマップは資料を参照）</p>	<p>【入学者受入れに関する基本的考え方（前文）】</p> <p>教職実践研究科教職実践高度化専攻は、子ども一人ひとりの主体的で創造的な学びを実現することをめざして、多様な現代の教育課題に協働で取り組むことのできる、高度な専門的知識と実践的指導力をもつ教育の高度専門職業人の養成を目的とする。</p>
<p>【学生が身に付けるべき資質・能力】</p> <p>○自らの教育活動を省察し、実践と理論の往還を通して、より良い教育を創造する力。</p> <p>○教科の指導や学習に関する高度な知見をもち、それらを基に多様な学習者一人ひとりに応じた探究的な学修と成長を支援する力。</p> <p>○社会と教育の現状を把握し、未来に向けて組織的に協働して共生的な学校づくり・授業づくりに取り組む力。</p>	<p>【教育内容・教育方法（教育課程実施）に関する基本的考え方】</p> <p>以下の方針で教育課程を実施する。</p> <p>○基盤科目：教育の本質的な理論と最新の実践を学ぶ5領域を設ける。各領域の必修科目に加えて、キャリアや関心に応じて選択できる選択科目を置く。また、総合大学としての研究成果を活かし、実践的な学校課題に対応する専門的な科目を置く。</p> <p>○高度化科目：探究教育と共生教育の2領域を設ける。両領域の理論と実践を学んだ上で、いずれかの領域についてフィールドワークやプロジェクトを通してさらに深く学ぶ。</p> <p>○実習科目：学校における実務経験を通して教職への理解を深め、実際に実践と省察を行うために実習を行う。1年次は、全学校種の教育課程を有する本学附属学校園で実施し、2年次には、県下の連携協力校で実施する。</p> <p>○総合科目：多様な科目での学習内容を発展的に統合するために、長期にわたって多様な視点から理論と実践を往還する科目を必修とする。</p>	<p>【求める人材】</p> <p>入学者の選抜にあたっては、以下の要素を備えた人を求めます。</p> <p>○教員免許状を有し、学校教育に関する専門的知識を学ぶ基礎となる能力を持つ。</p> <p>○探究的な学習指導や学校管理運営に関する研究及び専門的力量的の向上について、積極的に取り組む意欲を有する。</p> <p>○これからの共生社会と学校とのあり方に関心を示し、様々な人と協働して教育課題の解決に取り組む態度を有する。</p>
	<p>【学修成果の評価】</p> <p>（1）授業科目に対して成績評価の基準及び方法を明示し、それに基づいて、学修成果を評価する。</p> <p>（2）修了認定に関する基準を明示し、当該基準にしたがって学修成果に係る評価を適切に行う。</p>	<p>【選抜の基本方針】</p> <p>入学者の選抜にあたっては、以下の要素を備えた人を求めます。</p> <p>○教員免許状を有し、学校教育に関する専門的知識を学ぶ基礎となる能力を持つ。</p> <p>○探究的な学習指導や学校管理運営に関する研究及び専門的力量的の向上について、積極的に取り組む意欲を有する。</p> <p>○これからの共生社会と学校とのあり方に関心を示し、様々な人と協働して教育課題の解決に取り組む態度を有する。</p>
		<p>【入学までに身に付けて欲しい教科・科目等】</p>